

■EU：EU域内では2020年までに7,500万kWの風力発電が新設される見込み

欧州風力発電事業者協会（EWEA）は2014年7月23日、2020年までのEU域内の風力発電の建設見通しを発表した。会員企業への調査結果によれば、今後7年間平均年1,000万kW程度の新設が見込まれ、2020年までの新設設備容量は7,500万kW程度に達する。これは、EWEAが2009年および2011年に発表した見通しの5分の1程度に止まる。大幅な下方修正の原因として長引く経済危機と主要国の風力発電市場における規制政策のブレが上げられる。しかし、一方で各国の市場は秩序を回復しつつあるとして、ドイツ、フランス、英国およびポーランドを有望な陸上風力市場として挙げ、さらに洋上風力では今後、英国を筆頭にドイツ、フランス、オランダでの拡大が見込まれるとした。この結果2020年における風力の設備容量は1億9,240万kW、発電量は4,420億kWhに達し、EU電力需要の15%を賄うと見込まれる。